

殺菌剤 生物農薬

ミニタンWG



農林水産省登録	第21970号
有効成分	コニオチリウム ミニタンス CON/M/91-08 株孢子・・・5×10の8乗 CFU/g
性状	暗灰色水和性細粒
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
有効年限	4℃：5ヶ月
包装	400g × 6箱

特長

- ✓ ユニークな生活環を持った新タイプの微生物農薬
有効成分は土壌生息の“糸状菌”で、世界中に分布しています。この糸状菌は、土壌中の菌核病菌の菌核にのみ寄生し、菌核を崩壊、あるいは生育を阻害します。他の有用生物への影響はほとんどありません。
- ✓ JAS法に適合
生物農薬ですので、JAS法が定める有機農産物または特別栽培農産物にも使用可能です。IPMでの使用に適しており、安心してご使用いただけます。
- ✓ 連続施用で高い効果
菌核病の感染源（菌核）の密度を減少させる効果があります。そのため、連続施用することで土壌中の菌密度が徐々に下がり、効果が高まります。
- ✓ 大規模面積での使用がより効果的
菌核を不活性化させることにより子のう盤形成を減少させるため、胞子の飛散量が大幅に減少します。二次感染のリスクを下げるため、大規模面積での使用がより効果的です。

適用作物と使用方法

作物名	適用病害名	10アール当り使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	コニオチリウム ミニタンスを含 む農薬の総使用 回数
		薬量	希釈水量				
野菜類 (キャベツを除く)	菌核病	800g	100 ℓ	定植前	—	全面散布 土壌混和	—
キャベツ				すき込み時～定 植前			
ねぎ	黒腐菌核病			定植前			
にんにく				植付前			

※本内容は2016年5月25日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

- 本剤は、冷蔵（4℃）で保存をする。
- 本剤を希釈する場合は、所定量の水に少量ずつ入れて散布液を調製すること。
- 本剤の有効成分は、生菌であるので、開封後は全てを使い切ること。
- 本剤散布液を圃場に均一に散布し、土壌中に均等に分布するように混和すること。
- 本剤は、殺菌剤、乳剤等の有機溶剤を含む薬剤及び酸性、アルカリ性を示す薬剤とは混用しないこと。
- ねぎの黒腐菌核病対象に本剤を使用する場合、多発生条件下では十分な効果が期待できないので、他剤と組み合わせて使用すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項



- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触は避けること。
- 夏期高温時の使用は避けること。

魚毒性等

この登録に係る使用方法では該当がない。

保管

直射日光をさけ、低温（4℃）で乾燥した場所に密封して保管すること。

備考

《上手な使い方》

使用時期：比較的冷涼な時期に使用してください。

①薬剤散布



- ・所定量の薬剤を土壌全面に均一に散布してください。

②土壌混和



- ・散布後速やかに、表層から20cm程度の深さまでムラがないよう、ていねいに土壌と混和してください。
- ・適度な土壌水分が必要です。手でにぎってくずれない程度が適しています。

③定植



- ・定植時期の目安として処理から定植まで2～4週間あけることをお勧めします。

※収穫後の罹病残渣は、菌核病蔓延の原因となるので、圃場外に持ち出し処分してください。

●おすすめの使用例（連続施用）

土壌中の菌核密度を減らすため、作期毎の施用をお勧めします。

また、菌核病に有効な茎葉散布剤と併用することにより、さらに菌核菌の密度低減が可能になります。

